



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月25日

上場会社名 石原薬品株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4462 URL <http://www.unicon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹森 莞爾
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 浅野 真司 (TEL) 078-681-4801
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,403	3.4	683	7.7	733	8.6	333	△12.2
24年3月期第3四半期	11,994	11.5	634	△15.3	675	△12.9	379	75.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第3四半期	44.70		—					
24年3月期第3四半期	50.94		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	17,778	13,643	76.7
24年3月期	17,122	13,458	78.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 13,643百万円 24年3月期 13,458百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,840	2.0	700	3.0	770	4.6	340	△9.0	45.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	7,460,440株	24年3月期	7,460,440株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	256株	24年3月期	256株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	7,460,184株	24年3月期3Q	7,460,241株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(2)業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復の動きを見せておりますが、長引くデフレに加え、欧州債務危機や中国経済の減速傾向の影響等もあり、期後半で円安への変化が見られたものの依然として先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況下、電子関連分野の金属表面処理剤及び機器等は伸びを示しましたが、他の分野は前年同四半期を下回りました。この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高12,403百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益683百万円（前年同四半期比7.7%増）、経常利益733百万円（前年同四半期比8.6%増）、四半期純利益は333百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。

セグメント別の売上高及び概要は、次のとおりであります。

(セグメント別の売上高)

(百万円未満切捨表示)

セグメント		前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減	平成24年3月期
金属表面処理剤 及び機器等	製品	2,798	2,766	△31	3,624
	商品	3,650	4,749	1,098	4,718
計		6,449	7,515	1,066	8,343
電子材料	製品	242	214	△28	332
	商品	775	403	△372	912
計		1,018	618	△400	1,244
電子関連分野計		7,467	8,134	666	9,587
自動車用化学製品等	製品	942	949	7	1,197
	商品	304	284	△20	404
計		1,246	1,234	△12	1,601
工業薬品	製品	188	174	△14	238
	商品	3,091	2,860	△231	4,095
計		3,280	3,034	△245	4,333
総計		11,994	12,403	408	15,523
内訳	製品	4,171	4,105	△66	5,392
	商品	7,822	8,298	475	10,130

(セグメント別の業績の概要)

(電子関連分野)

電子関連分野が対応する電子部品業界は、デジタルカメラ、薄型テレビ、パソコン関係の電子部品の需要の低迷が長期化する中、スマートフォン、タブレット関連の需要は引き続き堅調に推移しました。

①金属表面処理剤及び機器等

このような状況の中、国内においては、当社のめっき液の大手ユーザーである半導体製造各企業は、長期化する円高、中国をはじめとする新興国の成長鈍化や欧州債務危機等により、工場閉鎖、人員整理や生産の海外移管等を進めてきており、これらに対応するめっき液の需要は低調に推移しました。海外においても、主力となる日系半導体メーカーがシェアを落とし対応するめっき液需要

も伸び悩みました。また、新興国での販売も安価品が主流となり、当社のめっき液も販売価格の低価格化の要求が強まっております。その一方で、スマートフォンの世界的な普及に牽引され、ウエハーパンプめっき液は、韓国、台湾のユーザーから引き続き強い需要があり大きな伸びを示しました。

化成処理液自動管理装置等は、スマートフォン、タブレットの市場拡大に対応したプリント基板、タッチパネル関係のユーザーの海外工場を中心とした設備投資に対応し管理装置、試薬の販売は堅調な伸びを示しました。

金属表面処理剤及び機器等の売上高は、7,515百万円（前年同四半期比16.5%増）となりました。

②電子材料

電子材料のニッケル超微粉は、ユーザーのセラミックコンデンサの生産状況もあり納入が減少し低迷しました。一方、機能材料加工品は、半導体関連、液晶関連ともに市況低迷が続く装置メーカー向けの部品需要は新規装置用、消耗品とも低迷しました。

電子材料の売上高は、618百万円（前年同四半期比39.3%減）となりました。

(自動車用品分野)

自動車用品分野は、車体構造の変化による部品・ケミカル品の交換間隔の長期化や交通事故補修の減少等、市場規模が縮小傾向にある中、エアコンフィルター交換時にエアコン洗浄の同時施工に取り組むカーディーラーを増やしたことにより、エアコン洗浄剤が伸び、また、補修用コンパウンドの新規導入ユーザーの増加やリピート受注が好調に推移しましたが、洗車剤の減少、ケミカル品の輸出減もあり、自動車用品分野の売上高は、1,234百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

(工業薬品分野)

工業薬品分野は、対応する鉄鋼業界において、中国の過剰生産や海外景気減速による鋼材需要の悪化、輸出価格の低迷、円高による輸出競争力の低下など取り巻く環境が厳しい中、中国、アジア諸国への電磁鋼板向け特殊薬剤の輸出不調による使用量減少、鉄鋼市場向け一般薬剤の使用量減などあり需要は低調に推移しました。

工業薬品分野の売上高は、3,034百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

(2) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年7月27日に公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第3四半期累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,992,662	2,866,794
受取手形及び売掛金	3,368,704	3,613,970
電子記録債権	—	48,055
有価証券	110,023	160,814
商品及び製品	509,756	444,921
仕掛品	35,834	28,871
原材料及び貯蔵品	482,817	306,338
その他	158,019	179,764
貸倒引当金	△340	△366
流動資産合計	7,657,477	7,649,166
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,598,601	1,560,694
その他(純額)	1,756,841	2,068,559
有形固定資産合計	3,355,443	3,629,253
無形固定資産		
43,943		41,987
投資その他の資産		
投資有価証券	4,764,899	4,488,912
その他	1,303,851	1,982,717
貸倒引当金	△3,216	△13,684
投資その他の資産合計	6,065,534	6,457,945
固定資産合計	9,464,921	10,129,186
資産合計	17,122,398	17,778,352
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,446,616	2,462,805
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	8,000	24,000
未払法人税等	117,654	87,522
賞与引当金	147,000	74,331
役員賞与引当金	22,600	16,200
その他	429,701	708,746
流動負債合計	3,171,572	3,673,605
固定負債		
長期借入金	—	14,000
退職給付引当金	32,438	—
役員退職慰労引当金	257,366	263,515
資産除去債務	38,512	38,512
その他	163,681	144,929
固定負債合計	491,998	460,957
負債合計	3,663,570	4,134,563

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,447,280	1,447,280
資本剰余金	1,741,909	1,741,909
利益剰余金	10,469,763	10,579,451
自己株式	△259	△259
株主資本合計	13,658,694	13,768,381
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△199,866	△124,592
評価・換算差額等合計	△199,866	△124,592
純資産合計	13,458,827	13,643,789
負債純資産合計	17,122,398	17,778,352

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	11,994,553	12,403,155
売上原価	9,072,875	9,416,680
売上総利益	2,921,678	2,986,475
販売費及び一般管理費		
販売促進費	31,578	31,217
運賃及び荷造費	203,163	202,405
旅費及び交通費	114,833	103,161
報酬給与手当及び賞与	555,207	548,473
賞与引当金繰入額	39,388	39,336
役員賞与引当金繰入額	16,950	16,200
退職給付引当金繰入額	16,171	19,824
役員退職慰労引当金繰入額	17,983	16,742
福利厚生費	142,302	134,432
研究開発費	656,294	683,229
減価償却費	63,976	60,924
貸倒引当金繰入額	34	26
その他	429,444	447,058
販売費及び一般管理費合計	2,287,330	2,303,033
営業利益	634,348	683,441
営業外収益		
受取利息	1,561	918
有価証券利息	25,333	28,071
受取配当金	30,435	30,982
有価証券売却益	—	647
為替差益	—	1,125
その他	17,606	21,925
営業外収益合計	74,936	83,672
営業外費用		
支払利息	1,224	1,327
有価証券売却損	343	—
売上割引	1,545	1,591
有価証券償還損	1,136	17,935
為替差損	16,581	—
コミットメントフィー	11,053	11,015
その他	1,530	1,537
営業外費用合計	33,416	33,407
経常利益	675,868	733,706
特別利益		
固定資産売却益	67	—
特別利益合計	67	—

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	5,184	1,609
投資有価証券売却損	—	188,645
ゴルフ会員権評価損	—	11,500
貸倒引当金繰入額	—	10,500
投資有価証券評価損	43,105	—
その他	10	—
特別損失合計	48,299	212,255
税引前四半期純利益	627,636	521,451
法人税等	247,640	187,957
四半期純利益	379,995	333,493

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。